

No. 33	平成 29 年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	里山生活学校
事 業 名	里山の樹木利活用図鑑づくり事業
実 施 期 間	平成 29 年 8 月～平成 30 年 3 月
事 業 実 績	【事業概要】 ①図鑑づくりを目的とした里山自然観察会 4 回開催し、図鑑の土台となる樹木自生種 102 種のリストができた。 ②観察会や撮影会を実施するフィールド内の山道中心に整備作業を行った。 ③樹木や実や種を利活用したタネアートワークショップを開催。 ④地域に生息する蜂や蛇、毒性植物「危険動植物」を確認できる資料マニュアルを作成。 ⑤4 回の観察会で、約 90 種の樹木にタグをつけ、今年のテーマである「葉」及び「冬芽」の写真撮影を行いデータ化した。 ⑥観察会とリンクした図鑑を作るためにはフィールドマップの作成が不可解であると感じて、その作成にも着手し始めた。
実 施 効 果 自 己 評 価	【実施効果】 ①素晴らしい講師のおかげで、2ha 以上の森林に自生する多種多様な樹木を同定識別していただき、リストとタグをつけ、そして不十分ながら大まかなマップができたことで、自然科学に関心の高い子どもや中高生に対してもレベルの高い観察会を開始できるようになった。 ②質の高い観察会は、子どもの親たちも真剣に参加してくれるので、自然科学に関心の高い子どもが育つことにつながることを期待する。 ③今年のテーマ「葉」は、2 年後のオリジナル図鑑完成に向けた細かいオリジナルデータがほぼそろい、里山の特徴を数値で評価する一つの道筋ができた。 【自己評価】 ①作業アルバイトの日程調整に苦労したが、現時点では概ね目標に到達している。 ②フィールドマップの s 区政を事業当初から計画しておくべきであった。 ③スタッフの手違いによりイベント保険を失念していた。次年度は気を付ける。